

# スクリーンタイムの設定方法について

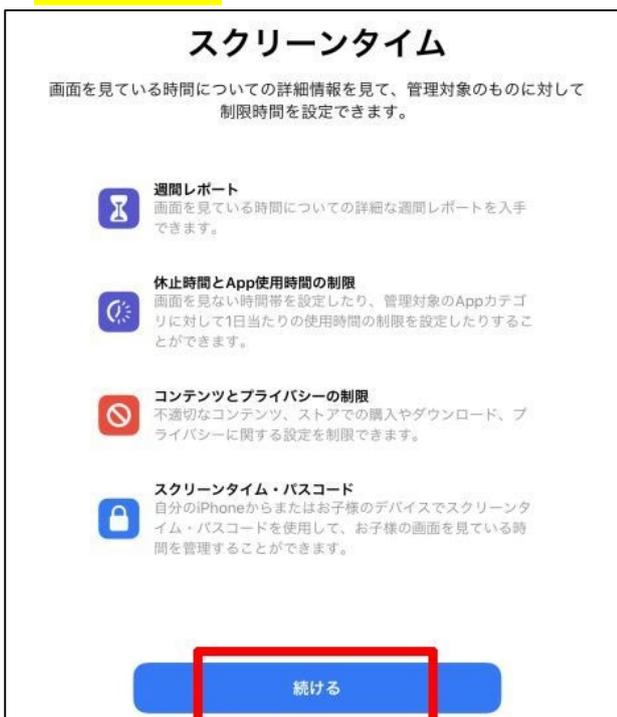
1. 「設定」⇒「スクリーンタイム」を開きます。



2. 「スクリーンタイムをオンにする」をタップします



3. 「続ける」をタップします



4. 「これは子ども用の iPad です」をタップします



5. 「あとで行う」をタップ



6. 「あとで行う」をタップします



※5、6ともに、後で設定した方が細かい設定ができます

7. 「続ける」をタップ



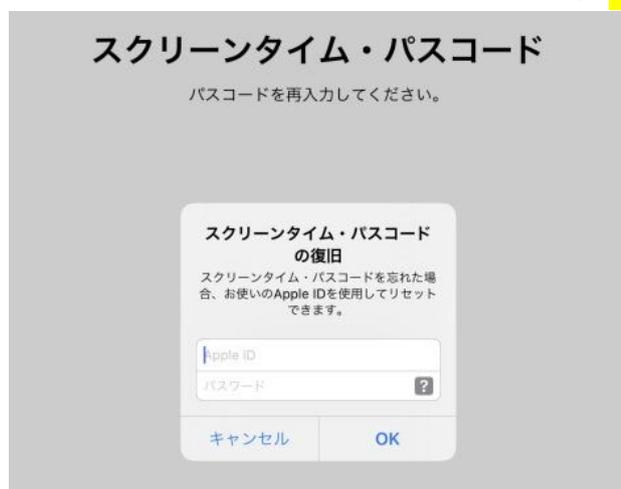
## 8. スクリーンタイムの設定を変更するときのパスコードを新しく作成します



※ iPad を起動するときのパスコードとは別のものです。

このパスコードはお子さんに知られないようにしてください。

## 9. 上で設定したパスコードを忘れた場合にアップル ID を使用してパスコードをリセットできるようにするため、**保護者のアップル ID** を入力します



これでスクリーンタイムを細かく設定できる画面になりました。  
ここで時間制限や表示するコンテンツの制限を設定していきます。



※「コンテンツとプライバシーの制限」の一部の設定は学校にて集中管理しています。管理の項目は別紙にあるとおりです。学校で管理されている項目については画面上では制限されていないような表示となっていますが、制限されていますので、変更の必要はありません。

ご家庭では「休止時間」と「App 使用時間の制限」、「コンテンツとプライバシーの制限」中の「許可された App」の設定が可能です。

このマニュアルでは「休止時間」の設定について紹介します。  
その他詳細な設定を希望される場合は各自でお調べ下さい。

## 「休止時間」

夜 10 時以降は iPad を利用できないようにするなど、iPad 本体を利用できなくする時間を設定できます。曜日ごとに設定することも可能です。

### 1. 「休止時間」をタップ



### 2. iPad 本体を利用できなくする時間を設定する。

「休止時間」と「休止時間中にブロック」をオンにする。



## 「App 使用時間の制限」

アプリごとに使用可能な合計時間（一日）を設定できます。

### 1. 「App 使用時間の制限」をタップします



### 2. 「制限を追加」をタップし制限するアプリを選び、「追加」をタップします



3. 合計時間（1日）を設定し、「使用制限終了時にブロック」をオンにし、「追加」をタップします



safari を時間制限する場合（App の選択では表示されません）

1. 「すべてのアクティビティを確認する」をタップします



2. 『よく使われたもの』から safari を選択し、「制限を追加」をタップします

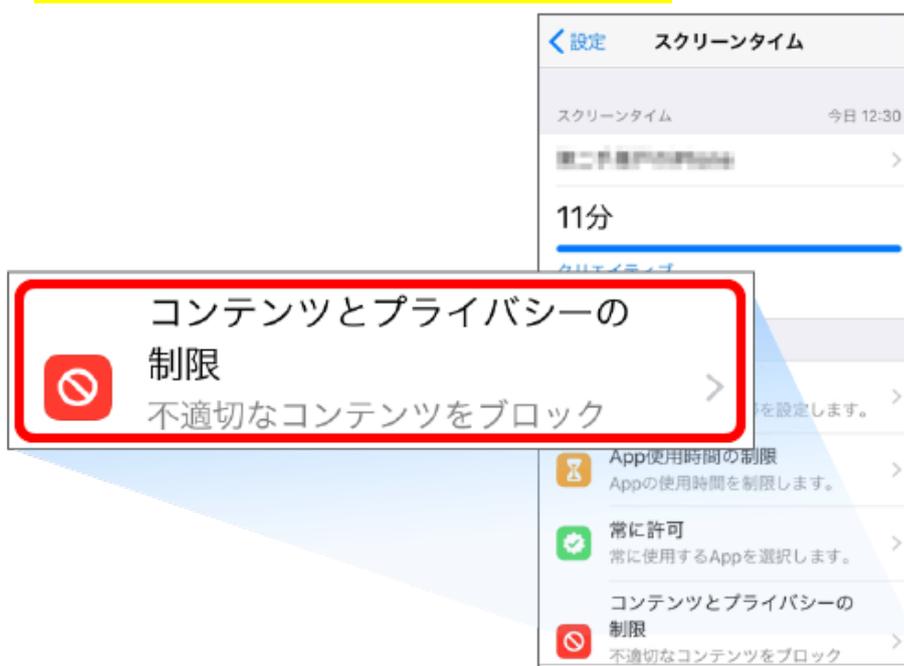


※もし見当たらなければ、『表示を増やす』をタップすると出てきます。

3. 「App 使用時間の制限」の 3.と同じです

「許可された App」

1. 「コンテンツとプライバシーの制限」をタップします



2. 「コンテンツとプライバシーの制限」をタップしオン(緑色表示)に変更し、「許可されたApp」をタップします。



3. 使用を許可しないアプリをタップしてオフ(白色表示)に変更し、「戻る」をタップします。

